

秋田市教育委員会
平成24年10月定例会
(資料)

【資料目次】

その他

- ・平成23年度決算に対する意見・要望 … 1
- ・教育委員会関連行事予定(10月) … 10

平成23年度決算に対する意見・要望

秋水会

世界的な経済情勢は依然として厳しく、また、国政が先の見えない状況にあって、本市財政は、東日本大震災による影響も相まって、自主財源比率が下がり続けていることに加え、新庁舎建設事業を初めとした大規模事業の本格化や扶助費の増加により、さらに厳しい状況に置かれている。

こうした状況にあって、平成23年度予算は、選択と集中による事業の最適化を図る観点から、すべての事務事業をゼロベースで見直し、6つの成長戦略に重点配分して編成されたが、その決算は、県庁所在市、そして中核市として秋田県を牽引する責任と、新たな発想で行財政改革を実行した結果である。

今後とも「ともにづくり ともに生きる 人・まち・暮らし」の実現に向け、市長を先頭に、全部局が一丸となって職務に邁進することにより、市民サービスが一層向上することを期待し、平成23年度決算については、次の意見・要望を付して認定する。

- 1 財政の健全化を図るため自主財源の安定的な確保に努め、安全安心に暮らせる「あきた」を実現する施策の実施について、全部局一丸となって取り組むこと。
- 2 教職員の高齢化が進む中、年齢層のバランスを図るためにも、新規採用枠の拡大と、市として教職員の採用や人事異動の権限が持てるよう、県に強く働きかけること。
- 3 子供たちを安全安心に育てられる環境を整えるため、本市独自の子育て支援策をさらに推進すること。
- 4 地産地消及び食育を推進する観点から、学校給食に地場産品をより多く取り入れるなど、抜本的な施策を積極的に講じること。
- 5 デスティネーションキャンペーンや国民文化祭の成功に向け、新たな視点での観光振興に、本市がリーダーシップを発揮すること。
- 6 温暖化対策とともに、あきたスマートシティ・プロジェクトを市民や企業に対して、十分理解してもらうよう努めること。
- 7 地域活動の原点である町内会などの自治活動等に対し、活動に必要な情報等の提供に努めるとともに、積極的な活動を促す施策を講じること。
- 8 想定外の災害にも対応できるよう、部局横断的に組織を強化し、防災・減災のため、ハード・ソフト両面から都市の整備を行うこと。

平成23年度決算に対する意見・要望

市民クラブ

平成23年度は、東日本大震災で大きな被害を受けた近隣各県への支援に加え、豪雨による災害復旧、冬期の大雪による除排雪など、自然の脅威への対応に迫られた年度であった。また、震災以降、電力供給の制限や福島第一原子力発電所の事故などにより、企業経営や市民生活に著しい影響が生じていたが、それが一段落した今、本市経済の早期回復に対する一層の努力が求められている。

平成23年度決算について、歳入総額では増加となっているものの、これは地方交付税を初め依存財源が大幅な増となったことに起因するものであり、自主財源では根幹をなす市税収入はさらに落ち込んでおり、震災の影響等による本市経済の低迷が浮き彫りになっている。一方、歳出総額では、土木費や衛生費の増などにより、前年度よりもふえている状況にある。このような中、一般会計の決算においては、実質収支額では13億778万円の黒字となり、できる限り歳出の抑制に努めた職員の姿勢を評価するものである。今後、財政状況の一層の健全化に向けて努力を要することには変わりはないが、限られた財源の中で、事業の取捨選択などにより効率的かつ効果的に予算を執行することによって市民生活が向上することを期待し、次の意見・要望を付して、平成23年度決算を認定する。

- 1 歳入について、多額の収入未済金の回収はもとより、新たな未収金を発生させないよう努めること。
- 2 職員の業務の平準化に努め、時間外勤務を減らし、心身ともに健康な状態で業務に当たることができる職場環境づくりに努めること。
- 3 職員のコンプライアンス意識を高め、個人情報取り扱いを厳正に行うほか、公務員としての自覚を持ち、日々の業務に真摯に取り組むこと。
- 4 障がい者の職員採用を積極的に行うとともに、より適切な課所室への配置に努めること。
- 5 今後ますます増加するインターネット利用に応じて、ホームページの充実を通じ市民への情報発信を強化するとともに、その効果の検証を行い、ユーザビリティの向上を図ること。
- 6 デスティネーションキャンペーンを控え、観光宿泊客を増加させるためにも、特定の委託業者に偏ることなく、幅広い意見の聴取や多くの人の参加を呼びかけ、一丸となった観光PR・観光客誘致に取り組むこと。
- 7 社会福祉法人の指導監査に当たっては、細心の注意を払い、厳正に取り組むこと。
- 8 全国的に公の施設における指定管理者制度の導入とサービスの再検証が進む中、本市においても図書館を初めとした教育委員会所管の各施設の事業の再検証をするとともにサービスの質の向上を図ること。

- 9 あきたスマートシティ・プロジェクト基本計画に基づき、地球温暖化対策を押し進めるとともに、地産エネルギーの導入促進事業の強化、特に木質バイオマスの活用を積極的に行うこと。
- 10 市内企業の経営は行政に対する依存度が高いという構造的な要因が大きいことを踏まえ、商工業振興施策の実施に当たっては、各企業と意思の疎通を図り、より経済活動の活性化に資するよう努めること。
- 11 市民生活に密着した事業や行政サービスにおいて、市民ニーズの把握、意見の聴取を積極的に行い、その結果を公開すること。

平成23年度決算に対する意見・要望

希望

平成23年度は、前年度に引き続き、経済の低迷や雇用の悪化により、本市を取り巻く経済状況は厳しさを増している。さらに、東日本大震災により、市民生活や市政運営に大きな影響を受けた中で、第12次秋田市総合計画「県都『あきた』成長プラン」と第5次秋田市行政改革大綱「県都『あきた』改革プラン」を始動させた新たなスタートの年でもあった。

こうした中、歳入においては、市税を初めとする自主財源が減少したことにより、地方交付税、市債及び国庫支出金などの増や基金の取り崩しなどにより歳入を確保している。一方、歳出においては、除排雪関係経費や子ども手当費及び生活保護費等が増となったものの、最終的に実質単年度収支で黒字を確保したことは一定の評価をするものである。

今後は、国の経済は緩やかに回復することが見込まれるものの、本市の景気と雇用情勢の好転は望めないことから、さらなる行財政改革を進め、限られた財源を最大限に生かす努力が必要である。また、職員に対する信頼が問われる不適切な事案や事務処理ミスが発生していることから、コンプライアンスの徹底や内部統制の確立に全庁を挙げて取り組み、活力ある秋田市、元気な秋田市の実現に向け、職員一人一人が役割と責務を再確認し、市民の負託と信頼にこたえることを求め、平成23年度決算については次の意見・要望を付して認定する。

- 1 財政の健全化のため、未収金の解消と不納欠損の減少に向けた取り組みと自主財源の安定確保に努め、積極的な対策を講ずること。
- 2 新庁舎建設事業においては、なお一層事業の効率化を図るとともに、将来に悔いの残らない事業になるよう努めること。
- 3 商工業振興施策においては、なお一層中小企業の育成と支援に努め、農商工連携による各種施策を確立するとともに、積極的に雇用対策に取り組むこと。
- 4 農業施策においては、引き続き耕作放棄地の解消に取り組むとともに、米・野菜・花卉等の地場農産物の供給拡大を図り、なお一層地産地消の推進に努めること。
- 5 介護保険施設の入所待機者解消のため、特別養護老人ホームやグループホームなどの施設整備を図るとともに、在宅介護サービスの充実に努めること。
- 6 東部・南部両市民サービスセンターの整備に当たっては、地域の特性に配慮し、地域住民や地域団体と十分な協議の上、地域からの要望を反映すること。
- 7 はずむスポーツ都市宣言の理念を踏まえ、関係部局との連携を十分に図り、市民の健康増進及び生涯スポーツの振興に努めること。
- 8 教育行政においては、郷土の自然や歴史、文化を生かし、児童生徒の健全な育成に資する教育環境と施設の整備に努めること。

- 9 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化に当たっては、今後の見通しに十分意を用い、本市の特性を生かした特色ある大学づくりに努めること。

平成23年度決算に対する意見

公明党秋田市議会

東日本大震災から一年半が経過したが、東北地方太平洋沿岸域を襲い、多くの犠牲者を出した津波の衝撃的な映像が、ついきのうのこのように思い出される。あの未曾有の震災が、東北地方だけでなく、日本経済全体にこれほど大きく影響を及ぼすとは、だれも想像できなかつたであろう。

しかし、被災地の方々は、大きな悲しみを背負いながらも力強く立ち上がり、私たちに多くの教訓を与えてくれた。

世界経済の低迷は続き、国内においても若者の深刻な就職難、少子高齢社会の到来による不安等々、多くの課題が山積している今日、地方自治体には、自立した財政運営と住民との協働による行政運営がさらに求められている。

本市は、平成23年度から、第12次秋田市総合計画「県都『あきた』成長プラン」及び第5次秋田市行政改革大綱「県都『あきた』改革プラン」を始動している。

「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」を基本理念に掲げた「県都『あきた』成長プラン」では、

- ①「豊かで活力に満ちたまち」として
 - ・産業振興による地域経済の活性化、雇用とにぎわいの創出を、
- ②「緑あふれる環境を備えた快適なまち」として
 - ・利便性の高い都市基盤の整備、住みよい環境の保全と次世代への継承を、
- ③「健康で安全安心に暮らせるまち」として
 - ・生活の危険を回避できる十分な体制整備、市民の健やかな心身の保持を、
- ④「家族と地域が支えあう元気なまち」として
 - ・家族・地域・人のきずなのもと、すべての市民が主人公として充実した生涯を送れることを、
- ⑤「人と文化をはぐくむ誇れるまち」として
 - ・歴史や文化を生かした魅力あるまちづくり、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりを目指している。

決算審査に当たっては、各事業において、この基本理念が確実に生かされ、効果的かつ効率的な予算執行となっているのか、さらに、事業効果の検証が適切になされているのかという点を主眼として臨んだところである。

平成23年度の本市決算は、歳入において、4年連続の市税収入の減、一般会計における自主財源比率が44.0%と引き続き過半を割った中、地方交付税、市債及び国庫支出金等の増や基金の取り崩しで歳入を確保しているが、最終的には、取崩額を上回る額を基金に積み立てており、実質単年度収支も黒字となるなど、適切な行財政運営に努めたことがうかがえる。

この3日間の審査の結果、厳しい行財政事情の中、市民福祉向上のための予算執行が的確に行われていると判断したところである。職員一人一人がみずからの役割を認識し、鋭意業務に励んでいることに対し敬意を表し感謝申し上げるとともに、今後のさらなる努力を期待し、平成23年度決算を認定する。

平成23年度決算に対する意見

日本共産党秋田市議会議員団

決算審査に当たっては、市の行財政運営が「住民福祉の増進を図る」との目的に沿って行われているのか検証した。

平成23年度普通会計決算の諸指標を見ると、経常収支比率は90.4%と前年度から1.6ポイント改善している。公債費関連指標は公的資金の補償金免除繰上償還などによって改善した。また、将来の債務償還の財源確保のための基金の積み増しも進められている。一方、財政力の強弱を示す財政力指数は0.628と前年度より0.02ポイント低下し、類似都市平均値より0.088ポイントも下回った。

一般会計について

歳入全体に占める市税の割合は0.5ポイント低下し33.8%となり、自主財源比率は44.0%と前年度よりさらに1.0ポイント低下し、最低の値となっている。このことを見ても、市民の暮らしが一層厳しくなっていることは明らかである。

東日本大震災や経済の低迷で日本経済の回復が進まない状況にあって、地域の経済を上向きにするため農林水産・商工業に対し抜本的な支援策を行うことが求められていたが、歳入全体に占める商工費の割合は、前年度から0.1ポイント低下し、農林水産業費は0.1ポイント上昇しただけである。逆に、「受益と負担の適正化」で使用料、手数料の見直しを進め、市民に負担を強いる形で歳入増を図ろうとした。その結果が「家庭系ごみ有料化」の方向であり、「住民福祉の増進を図る」との地方自治体の目的に合致しない方策と言わざるを得ない。

前年度の監査委員の審査意見書では、「将来的な財政負担を考慮すれば、市債の活用は必要最少限に止めることが肝要である」と厳しく指摘していたが、一般会計及び特別会計を合わせた市債現在高は前年度に比較して0.2%増加しており、歯どめをかけたとは言えない状況である。新庁舎建設計画は、より身の丈に合ったスリムなものに見直すなど、大規模事業について全面的な見直し・再検討を行い、市財政の健全化に向けて努力すべきである。

特別会計について

国民健康保険事業会計では、現年度課税分の収納率を前年度と比較して1.75ポイント改善させ86.37%とし、収入未済額や件数も減少させるなど収納対策における職員の努力は認めるものである。しかし、社会経済状況が改善されない中で、平成24年度当初には、資格証明書の交付が1,208世帯とふえている。また、受診したくても受診できない市民もおり、国民健康保険の目的が果たせない事態が生じている。

さらに、単年度収支は3億4,687万円の赤字となっているが、国保連合会の過年度分過少請求の精算分や基金積立金などを加味すると実質的に黒字である。これまでも繰り返し指摘してきたが、窓口負担の減免など市民の命と健康を守るための対策を講ずる努力をすべきであった。

以上のことから、平成23年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算については、関係職員の努力は多とするものの、市民の福祉の向上に資するという立場からは認定できないものである。

平成23年度決算に対する意見

フォーラム21

平成23年度決算において、監査委員の決算審査意見書に示されているように、普通会計における主な財政指標は近年悪化傾向が続いており、特に財政構造の硬直化を示す義務的経費比率が2年連続して悪化していることから、本市の財政状況は依然として楽観できない状況になっている。

また、人口40万人未満の中核市20市の平均値と比較すると、経常一般財源比率、経常収支比率、義務的経費比率及び起債制限比率については平均より良好となっているが、実質収支比率、財政力指数、実質公債費比率などについては平均値に比べて不良となっていることは、財政運営に警鐘を鳴らしているものであり、一層の健全化を要するものである。

本決算審査を通じ、重要施策や事業の執行に当たって、各部局間の連携が必要不可欠でありながら、部局間で十分検討し執行しているとは言いがたい部分が見受けられたことから、今後、なお一層連携を密にすべきである。

なお、決算審査における当局説明は主要な施策の成果等に関する報告書に沿って行われているが、執行した施策や事業の説明が不十分であったように見受けられたことから、きめ細かな説明に努めるべきである。

今後の市政運営に当たっては、職員一人一人の資質向上や業務遂行能力の向上が不可欠であることから、より一層の知恵と努力と工夫を期待し、平成23年度決算を認定する。

平成23年度決算に対する意見・要望

社会・市民連合

平成23年度の本市経済は、長引く景気低迷による雇用不安や東日本大震災の影響などにより、厳しさが一層増した1年であった。

このような中、平成23年度決算では、市税が4年連続の減となったものの、地方交付税等の増や基金の取り崩しなどで歳入を確保しており、歳出においては、除排雪関係経費などの物件費や扶助費等の増があったものの、前年度で終了した普通建設事業などの関係で、ほぼ前年度並みの総額となっている。

また、主要財政指標においては、実質収支比率、経常収支比率及び公債費比率等が改善しているほか、実質単年度収支でも黒字を確保するなど、健全な財政運営に努めた結果があらわれている。これは、日夜、市民の福祉向上に励んでいる市職員の努力のたまものであると評価するものである。

今後も、なお一層市民生活の向上を図るとともに、市職員の英知を結集して一丸となって取り組んでいくことを望み、平成23年度決算については、次の意見・要望を付して認定するものである。

- 1 市民サービスセンターについては、道路の小破修繕など、身近な行政機関でサービスを受けられ、「安全・安心」が実感できると好評なことから、市民生活の不安を解消するための要望等に対しては、これまで以上に積極的に取り組むこと。
- 2 今後、少子高齢化が進むにつれ、ひとり暮らし高齢者が増加することが想定されることから、生活援助や長寿の祝いなど「安心・ありがとう」が実感できる施策を拡大すること。
- 3 子育て・保育支援は、行政が軸となって行うべきと考えることから、子育て支援や児童虐待防止のための施策について、より一層の充実を図ること。
- 4 地産地消の推進について、学校給食における地元産野菜使用量などが前年度より減少していることから、教育委員会、農林部など関係部局が連携し、使用拡大に努めること。
- 5 不登校については、いじめに起因していることも懸念されることから、適切な支援を行うこと。また、学校の安全対策について、より充実を図っていくこと。
- 6 スポーツ少年団の活動を支援するほか、体育施設の点検・安全対策を強化していくこと。

教育委員会関連行事予定

◎ 11月の主な行事

件名	月日	曜日	開始時刻	場所	内容	主管課
第62回文化の日記念式典	11月3日	土	16:00	秋田キャッスルホテル	平成24年度秋田市文化章および文化功績章の表彰式。	文化振興室
まんたらめ秋のファミリーキャンプ	11月3日	土	9:30	まんたらめ	4日(日)まで 自然散策、自然素材を使ったクラフト、ピザ焼き体験	太平山自然学習センター
親子で英語inフォンテ文庫	11月3日	土	11:00	フォンテ文庫	英語の読み聞かせ	中央図書館明德館
「土居輝雄 佐竹義重・義宣親子を語る」 －佐竹義重没後400年－	11月3日	土	10:00	中央図書館明德館	佐竹義重没後400年を記念した講演会	中央図書館明德館
企画展「ナント美術館名品展－珠玉のフランス近代絵画－」	11月3日	土	10:00	千秋美術館	12月16日まで。	千秋美術館
秋田城跡第101次発掘調査現地説明会	11月4日	日	13:30	史跡秋田城跡	平成24年度発掘調査現場において出土遺物等調査結果を説明する。	秋田城跡調査事務所
秋田万歳入門講座	11月6日 13日 20日	火	18:30	民俗芸能伝承館	藩政時代から受け継がれた秋田万歳を学ぶ。	民俗芸能伝承館
第9回サンパル秋田まつり	11月9日	金	10:00	サンパル秋田	11日(日)まで。 講演会、作品展示、ステージ発表、文化交流ひろば、サークル体験 など	中央公民館、女性学習センター、勤労青少年ホーム
作ってあそぼう工作会	11月10日	土	11:30	フォンテ文庫	親子で楽しく工作づくり	中央図書館明德館
次世代アスリート育成事業(野球編)	11月17日	土	13:30	茨島体育館	市内中学校の指導者・選手を対象とした講習会 講師:コンディショニングコーチ 立花龍司 氏	スポーツ振興課
パンダのえほん修理屋さん	11月17日	土	10:30	フォンテ文庫	絵本の修理	中央図書館明德館
国名勝旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園一般公開	11月17日	土	9:30	如斯亭庭園	国指定名勝如斯亭庭園の一般公開を行う。	文化振興室
おはなしの会	11月17日	土	11:00 14:30	フォンテ文庫	絵本や紙芝居などの読み聞かせ	中央図書館明德館
講演会「フランス近代絵画:アカデミズムと前衛」	11月23日	金	14:00	千秋美術館講堂	講師 阿部 邦子 氏 (国際教養大学講師、美術史家)	千秋美術館
親子で楽しむわらべうた	11月27日	火	11:00	フォンテ文庫	ボランティアグループによるわらべうた	中央図書館明德館